

[2016年8月24日にテラデータ・コーポレーションより発表されたプレスリリースの抄訳です]

2016年9月8日
日本テラデータ株式会社

テラデータ、Teradata Aster Analytics を Hadoop と AWS 上で提供
**ビッグデータ・ユーザーが先進的なマルチジャンル分析を既存資産上で活用可能にし、
 ビジネス価値獲得までの時間を短縮**

テラデータ・コーポレーション (NYSE: TDC、以下テラデータ) は、先進的なマルチジャンル分析エンジン、Teradata Aster Analytics (Aster) の新しい実装オプションとして、「Teradata Aster Analytics on Hadoop」および「Teradata Aster Analytics on Amazon Web Services (AWS)」を発表しました。以前の Aster のバージョンでは、専用システムの構築が必要でしたが、これにより、企業は既に投資してきた Hadoop を活用し、データの存在する場所に関わらず、柔軟に価値ある洞察を分析から得ることが可能になります。

Aster に2つの新たな実装オプションが加わることで、ハイブリッド・クラウド・アーキテクチャ、次世代の俊敏性・柔軟性、またシステム間統合、そして先進分析アプローチに対するテラデータの戦略が強化されます。センサーやデジタル・モバイル機器等の IoT (Internet of Things: モノのインターネット) から大量のデータが発生する中、テラデータは、Hadoop やクラウドを含め、顧客企業の需要に合わせてカスタマイズしたアーキテクチャとして、ハイブリッド・アプローチを提供します。

一般的に、オープンソースの先進分析パッケージは、ビジネス・アナリスト向けには設計されておらず、利用することそのものや実装、保守に専門的なスキルを必要とします。様々な先進分析ツールが Hadoop との連携を進めてきましたが、Hadoop 上で実行できるような特別な設計はされておらず、専用プラットフォーム内にデータを移すために、データを抽出する必要があります。こうしたソリューションは、ユーザー、データ、そして活用形態のいずれの観点から見ても拡張性が不十分です。

Aster は、テキスト、経路、パターン、グラフ、機械学習、統計など、全ての分析機能を同じインターフェースとシンタックス (構文) で利用できます。2つの新たな実装オプションの詳細は、

以下となります。

Teradata Aster Analytics on Hadoop

- **Hadoop データレイク利用の拡大、価値向上**：Aster により、SQL や R のスキルを持つビジネス・アナリストが、Hadoop にアクセスできるようになります。Aster はより広範な分析コミュニティを支援することになります。
- **Hadoop 上でのネイティブ実行**：Hadoop からデータを抽出して分析サーバー内に移す作業が省かれるため、ユーザーは、データの移動に関わるコスト、遅延、セキュリティ上のリスクを排除し、分析プロセスを加速することができます。
- **Hadoop 上での分析の迅速な共有**：単一の Hadoop クラスターの共通のデータに対して、開発用サンドボックスと本番環境のインスタンス両方を作成することができます。また、アナリストは、ビッグデータ分析用アプリケーション「Teradata AppCenter」を利用してビジネス・ユーザー向けの Web ベースのインターフェースを容易に構築することができます。

Teradata Aster Analytics on AWS

- **価値獲得までの時間短縮**：企業は、分析用サンドボックスをクラウド上で迅速に構築し、Aster が持つ事前定義済みの SQL ベース分析機能により、開発スピードを加速できます。モデルから得られる価値を検証できたら、同じ分析をクラウド上の本番環境に移行させることも可能です。
- **分析の俊敏性向上**：スケーラブルで強力なマルチジャンル分析の機能一式の提供により、アナリストは大量データに対する探索的、反復的な分析を、必要に応じて何度も繰り返すことができます。
- **財務上の便益の提供**：企業は、新たなハードウェア、セットアップ、実装などの追加投資をすることなく、事前定義済みの先進分析関数と自社のデータ資産を用いた分析ができます。

「Teradata Aster Analytics on Amazon Web Services」は、2016 年 9 月中旬から、また「Teradata Aster Analytics on Hadoop 7.0」は、2016 年 10 月から提供開始予定です。

以上

本プレスリリースの原文は [Teradata News Room](#) をご参照ください。

###

◆ Teradata Corporation について

テラデータ・コーポレーションは、顧客企業がデータ活用から、競合他社よりもより多くの価値を引き出すことを支援しています。テラデータのビッグデータ分析ソリューションや各種サービスの先進的なポートフォリオは、顧客企業にデータ活用から持続可能な競合優位性を提供します。

<http://www.teradata.com/>

◆ 日本テラデータについて

日本テラデータ株式会社は、テラデータ・コーポレーションの日本法人です。統合データウェアハウス、ビッグデータ分析ソリューションおよびこれらの活動を支援するコンサルティング、構築支援、教育、メンテナンスサポートなど各種サービスを提供しています。

* Teradata は、米国テラデータ・コーポレーションの米国およびその他各国における商標または登録商標です。

###